

令和 6 年度 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人 大阪府国際交流財団

当財団は、大阪の国際競争力の強化を図り、大阪の国際化に寄与するため、「外国人の受入促進・活動環境整備」、「国際交流情報の収集及び発信」、「グローバル人材の育成・活用」に取り組んでおります。

令和6年度は、「OFIX中期経営計画(令和5年度～令和9年度)」の2年目にあたり、日本・大阪を取り巻く社会経済情勢の変化やこれまでの取組みを踏まえつつ、重点事業として掲げた「相談機能の専門性向上」、「災害時における迅速な情報発信の強化」、「万博関連事業の取組み」に取り組んでまいりました。

事業実施においては、中期経営計画に示している具体的取組事項や各種成果指標の達成につなげるための新たな取組みとして、増加する在住外国人に向けて、協働して多面的な支援ができるように、社会福祉協議会と連携した取組みの実施や、加えて国や関係機関だけでなく民間企業等と連携した具体的な対策にも取り組みました。

また、4月13日に開幕した2025年大阪・関西万博、さらには万博後を見据えて、国際都市大阪で多文化共生社会の実現に寄与するために、広域ネットワークを活かしつつ、関係機関や外国人から一層信頼される組織・体制づくりを進めました。

財政状況については、米国金利の影響もあり長期金利が上昇し債券の時価が下落するなか、安全性に配慮しながら財源の確保に努めました。事業収支については、引き続き事業の選択と集中を進めるとともに、管理費の縮減を徹底するなど、経営の健全化への取組みを進めました。

I. 事業の実施

令和6年度事業計画に基づき、以下の事業を実施しました。

1	外国人の受入促進・活動環境の整備	4
(1)	大阪府外国人情報コーナーの運営	4
(2)	OFIXボランティア登録制度の運営	10
(3)	多言語情報提供の支援	11
(4)	やさしい日本語の普及	11
(5)	災害時外国人支援体制の確立	12
(6)	大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営・活用	13
2	国際交流情報の収集及び発信	14
(1)	OFIXホームページ・SNSの運営	14
(2)	OFIXニュースの発行	14

（３）多文化共生連携センターの運営	15
（４）民間国際交流団体等の活動促進	15
３ グローバル人材の育成・活用	16
（１）国際理解教育の展開	16

Ⅱ．財務基盤の強化

１．事業の効率的な実施

資産の運用については、資産管理運用規程及び令和６年度の資産運用方針に則り、基本財産を棄損することがないよう安全性に配慮しつつ効率的な運用に努めるとともに、管理コストの縮減に努めることなどにより、効果的・効率的な事業運営に努めました。

２．賛助会費の確保

財団事業への参画と協力を得るため、賛助会員の募集を行い、会費の確保を図りました。

〔令和６年度実績〕

財団賛助会員 []内は前年比増減		
法人会員（１口 ５万円）	26 社[▲1 社]	58 口[+1 口]
個人会員（１口 ３千円）	19 名[±0 名]	20 口[▲3 口]

・寄付金… １２０，０００円（２団体） [+20,000 円]

Ⅲ. 事業報告

1. 外国人の受入促進・活動環境の整備

(1) 大阪府外国人情報コーナーの運営

① 外国人ワンストップ総合相談窓口（専門相談窓口）の運営

府内外国人が生活・就労等に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、大阪府の補助金を受けて、情報提供・相談対応を行う一元相談窓口「大阪府外国人情報コーナー」を電話又は面談により運営した。

大阪在住外国人が増加し続けていることもあり、労働関係や医療関係、住宅関係など、多様化、複雑化、深刻化した相談が多く寄せられた。

令和5年度に試行した「心の相談」を、今年度は専門相談の一環として設定し、弁護士、行政書士、大阪出入国在留管理局職員、大阪府労働環境課職員、臨床心理士と直接相談できる機会を増やした。また、国内での電話契約を行っていない外国人も多いことから、相談手段を増やすために、LINE電話での相談受付を試行的に実施した。

対応言語	日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、 (ウクライナ避難民支援のため、ウクライナ語、ロシア語にも対応した)
対応時間	月・火・水・木曜日 9時00分から17時30分まで (奇数月の第4週) 9時00分から21時00分まで 金曜日 9時00分から21時00分まで 第4日曜日(奇数月) 13時00分から17時00分まで (偶数月) 9時00分から17時30分まで
相談件数	2,822件(相談者数 2,217名) <専門相談関係> ※件数は内数 ・弁護士による専門相談開催数……12回(39件) ・行政書士による専門相談開催数……6回(13件) ・大阪出入国在留管理局との共催による専門相談開催数……14回(52件) ・大阪府労働環境課とオンラインで結んだ労働相談開催数……19回(10件) ・臨床心理士による専門相談開催数……4回(7件)

② 府内の市町村や国際化協会等との連携による地域相談会などの実施状況

(ア) 外国人住民向け地域合同一日相談会(「外国人住民向け一日相談会共同事業実施要綱」によるもの)

府内市町村における外国人相談窓口の設置を支援するため、大阪府内の自治体や国際交流協会等が実施する相談会を、様々な団体と連携して共催し、行政書士や弁護士などの専門相談員やボランティア通訳者等を派遣した。

(a) 「外国人のための一日相談会」

実施日：令和6年11月24日(日) 午後0時～午後3時

場所：枚方市役所第3分館 1階

共 催：枚方市 観光にぎわい部 観光交流課

相談内容：在留資格、保険・年金、生活

対応言語：日本語、英語、中国語、ベトナム語

相談者数：7名

相談件数：7件

(b) 「外国人のための多言語相談会 in 庄内」

実施日：令和7年1月25日（土） 午後1時～午後4時

場 所：豊中市庄内コラボセンター「ショコラ」3階、オンライン

共 催：（公財）とよなか国際交流協会

相談内容：在留資格、年金、求職、子育て、医療・保険、日本語学習、労働、生活、通訳、
行政手続き、交通事故

対応言語：日本語、英語、中国語、ベトナム語、フィリピン語、ネパール語

相談者数：20名

相談件数：27件

(c) 「外国人のための相談会」

実施日：令和7年2月2日（日） 午前11時～午後2時

場 所：守口市役所1階 市民相談室101号・102号

共 催：守口市 市民生活部 地域振興課

相談内容：在留資格、生活

対応言語：日本語、英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語

相談者数：6名

相談件数：8件

(d) 「外国人のための相談会」

実施日：令和7年3月7日（金） 午後5時30分～午後8時30分

場 所：四條畷市市民総合センター1階 展示ホール、オンライン

共 催：四條畷市 市民生活部 地域振興課

相談内容：在留資格

対応言語：日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語

相談者数：5名

相談件数：4件

(イ) 外国人住民向け地域合同一日相談会（「外国人住民向け一日相談会共同事業実施要綱」によらないもの）

府内市町村における外国人相談窓口の設置を支援するため、大阪府内の自治体や国際交流協会等が実施する相談会を、様々な団体と連携し、ボランティア通訳者等を派遣した。

(a) 「合同専門相談会」

実施日：令和6年10月9日（水） 午後1時～午後5時

場 所：ジェトロ大阪本部29階 セミナールーム

主 催：大阪出入国在留管理局

参加団体：大阪労働局、大阪外国人雇用サービスセンター、大阪法務局、
日本司法支援センター大阪地方事務所（法テラス大阪）、大阪市保健所、
外国人技能実習機構大阪事務所、（公財）大阪国際交流センター、（公財）大阪観光局、
留学生支援コンソーシアム大阪、（公財）大阪産業局

相談内容：在留資格、法律、就職、人権、生活、健康、外国人の雇用、技能実習 など

対応言語：日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、
ベトナム語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、
ウクライナ語、ロシア語、シンハラ語

相談者数：27 名

相談件数：26 件

(b) 「外国人のための一日離婚相談ホットライン」

実施日：令和7年2月15日（土） 午前10時30分～午後4時30分

場 所：大阪弁護士会館

主 催：大阪弁護士会

共 催：リコンアラート（協議離婚問題研究会）、（公財）とよなか国際交流協会

相談内容：離婚、親権・養育費、在留資格・呼び寄せ、行政手続き、住居・医療など

対応言語：日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、
ベトナム語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ロシア語

相談者数：18 名

相談件数：20 件

(ウ) 地域合同オンライン相談会

地域での合同一日相談会以外に、オンライン形式による合同相談会を大阪府内市町村、国際交流協会等と協力し実施した。

日付	詳細	協力自治体等	相談 件数	相談 者数
5月24日（金）	弁護士相談	（公財）八尾市国際交流センター	1 件	1 名
7月24日（水）	入管相談	高槻市	1 件	1 名
7月24日（水）	入管相談	（公財）八尾市国際交流センター	1 件	1 名
7月25日（木）	生活相談	堺市	1 件	1 名
7月26日（金）	弁護士相談	高槻市	1 件	1 名
7月28日（日）	臨床心理士相談	（公財）八尾市国際交流センター	1 件	1 名
9月25日（水）	入管相談	（公財）八尾市国際交流センター	1 件	1 名
1月22日（水）	入管相談	堺市	1 件	1 名
3月23日（日）	臨床心理士相談	堺市	1 件	1 名

③ 一日インフォメーションサービス事業

在住外国人と地域住民の共存・共生に資するため、「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議の共同事業として、外国人を対象とした「一日インフォメーションサービス」を開

催した。大阪府外国人情報コーナーとしては、「生活関連ブース」での相談を担当するとともに、通訳協力を行った。

主 催：「一日インフォメーションサービス」実行委員会

（「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議）

構 成：大阪法務局、大阪出入国在留管理局、大阪労働局、日本年金機構大手前年金事務所、全国健康保険協会大阪支部、大阪府、大阪府警察本部、大阪市、大阪弁護士会、大阪府行政書士会、大阪司法書士会、（一社）大阪府医師会、（一社）大阪府歯科医師会、（一社）大阪府薬剤師会、大阪商工会議所（大阪外国企業誘致センター）、近畿税理士会、大阪府社会保険労務士会、（独）日本学生支援機構大阪日本語教育センター、大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館、（特非）関西国際交流団体協議会、（公財）大阪府国際交流財団、（公財）大阪国際交流センター
※事務局は（公財）大阪国際交流センター

対応言語：日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ウクライナ語、ロシア語

<第1回>実 施 日：令和6年7月6日（土） 午後1時～午後5時

場 所：大阪国際交流センター

相談者数：68名

相談件数：101件

<第2回>実 施 日：令和7年1月18日（土） 午後1時～午後5時

場 所：大阪国際交流センター

相談者数：76名

相談件数：128件

④ 多言語情報提供

（ア）大阪生活必携の更新

外国人のための生活ガイド「大阪生活必携」のリンク先を含む全情報を見直し、最新情報に改訂して更新版を作成している。

（イ）よくある生活質問集（FAQ）の更新

ホームページの改訂にあわせて、既存の「よくある生活質問集」の情報を精査し、内容を充実させて、11言語で更新した。

⑤ 相談員・通訳者研修等

大阪府内の市町村や国際交流協会等で外国人相談に携わる相談員・通訳者を対象に、より良い相談サービスを提供するため、在住外国人に係る最新事情や各種制度等に関する知識の拡充・共有を目的とした研修を実施した。

<第1回>実 施 日：令和6年6月18日（火） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第1会議室

演 題：「多文化ソーシャルワークの必要性」

講 師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 教授

国際センター センター長 吉富 志津代 氏

※講義に引き続き、グループディスカッションを実施

参 加 者：22名

<第2回>実 施 日：令和6年11月26日（火） 午後1時30分～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第3会議室
演 題：「コミュニティ通訳・翻訳についての事例研究と実践」
講 師：愛知県立大学 大学院人間発達学研究科 非常勤講師
多文化ソーシャルワーカー コミュニティ通訳者 神田 すみれ 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：30 名

<第3回>実 施 日：令和6年12月20日（金） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第3会議室
演 題：「多文化社会における外国人ルーツをもつ子どもたち」
講 師：東洋大学 福祉社会デザイン学部 子ども支援学科
教授 南野 奈津子 氏

※講義に引き続き、グループディスカッションを実施

参 加 者：23 名

⑥ 社会福祉協議会と連携した在住外国人支援事業

*（一財）自治体国際化協会補助

福祉サービス等に関する知識・ノウハウを有する社会福祉協議会と連携し、研修会やフィールドトリップ等をとおして、社会福祉協議会と国際交流協会とが共通認識を高めると共に、互いの機関について知り合い、協力して在住外国人支援を行えるよう、日頃から顔の見える関係作りを行った。

（ア）在住外国人支援の現状や好事例を把握するための調査

（a）府内の社会福祉協議会へアンケートを実施 19件回収

（b）好事例把握のための研修参加

コミュニティソーシャルワーカー実践研修会

月日：令和6年8月2日（金）～8月3日（土）

主催：豊中市社会福祉協議会

滞日外国人ソーシャルワーク研修

月日：令和6年9月7日（土）～9月8日（日）

主催：兵庫県社会福祉士会

（イ）社会福祉協議会等のスタッフを対象とする共同事業（6回実施）

<第1回>実 施 日：令和6年6月18日（火） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第1会議室
演 題：「多文化ソーシャルワークの必要性」
講 師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 教授
国際センター センター長 吉富 志津代 氏

※講義に引き続き、グループディスカッションを実施

参 加 者：22 名

<第2回>実 施 日：令和6年7月23日（火） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第1会議室
テ ー マ：事例紹介
発 表 者：（特活）泉佐野地球交流協会(ica) 事務局長 吉田 政美 氏
（社福）泉佐野市社会福祉協議会 社会福祉士 印具 政弥 氏
※発表に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：16 名

<第3回>実 施 日：令和6年9月27日（金） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第3会議室

演 題：「多文化×民生委員」

講 師：特定非営利活動法人 国際活動市民中心(CINGA)

コーディネーター 新居 みどり 氏

※講義に引き続き、グループワークを実施

参 加 者：23 名

<第4回>実 施 日：令和7年1月29日（水） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第3会議室

演 題：「民生委員・児童委員のためのやさしい日本語研修会」

講 師：特定非営利活動法人 国際活動市民中心(CINGA)

コーディネーター 新居 みどり 氏

※講義に引き続き、グループワークを実施

参 加 者：26 名

<第5回>実 施 日：令和7年2月4日（火） 午後2時～午後4時30分

場 所：大阪国際交流センター2階 C・D会議室

演 題：「ヤングケアラーについて」

講 師：和歌山工業高等専門学校 准教授、

Minami こども教室実行委員長 原 めぐみ 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：11 名

<第6回>実 施 日：令和7年2月18日（火） 午後2時～午後4時30分

場 所：エル・おおさか 南館10階 南101

テ ー マ：「災害時の住民支援について」

講 師：NPO 法人 多文化共生マネージャー全国協議会 講師

NPO 法人 多文化共生サポート Adagio 代表理事 高木 祐子 氏

発 表 者：大阪府社会福祉協議会 地域福祉部

ヌル イザ リヤナ マット ナヤン 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：13 名

（ウ）外国人支援に積極的な社会福祉協議会との共同事業（2回実施）

<第1回>外国人のための相談サービス（食料配布付き）

実 施 日：令和6年7月29日（月） 午後1時～午後4時

場 所：シャッピーハウス(泉佐野市社会福祉協議会のサテライトオフィス)

相談内容：在留資格、法律、福祉、子育て

対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、フィリピン語、シンハラ語

相 談：13 件

相 談 者：12 名

<第2回>外国人高齢者施設へのフィールドトリップ（外国人高齢者施設見学）

実 施 日：令和6年10月22日（火） 午前10時30分～午後3時

場 所：NPO 法人エルファ、京都市南区東九条地域

参 加 者：18 名

(エ) 外国人参加型の共同事業（2回実施）

<第1回>能登地域でのボランティア活動

実施日：令和6年11月29日（金）～12月1日（日）

場所：石川県輪島市門前町黒島町及び深見

参加者：13名

<第2回>児童養護施設での交流活動

実施日：令和7年2月8日（土） 午後2時～午後5時

場所：府内の児童養護施設

参加者：10名

⑦ 生活オリエンテーション

大阪・関西万博に向けて来阪される外国人を対象に、大阪で快適に生活していただくため、生活情報全般に関するレクチャーを行った。

実施日：令和7年3月24日（月）・3月28日（金）

場所：大阪市内・守口市内

共催：（公財）大阪国際交流センター、大阪府警察

参加者：34名

(2) OFIXボランティア登録制度の運営

① OFIXボランティア登録・派遣制度の運営

OFIXボランティア登録・派遣制度を運営し、OFIX事業のほか、公共団体等からの依頼に応じて語学ボランティアを派遣した。

登録ボランティア数：639名〔令和7年3月末現在〕

活動件数：73件

派遣人数：179名

② 外国人相談等にかかる通訳・翻訳ボランティアの活動促進

OFIXの登録ボランティアを対象に、ボランティア制度や活動先、コミュニティ通訳についてなど、外部より講師を招き研修を実施した。

<第1回>実施日：令和6年7月22日（月） 午後1時30分～午後5時

場所：マイドームおおさか8階 第3会議室

演題：「いま求められているコミュニティ通訳
～通訳・翻訳コーディネーターの目線から～」

講師：多言語センターFACIL 理事長 李 裕美 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参加者：23名

<第2回>実施日：令和6年11月26日（火） 午後1時30分～午後4時30分

場所：マイドームおおさか8階 第3会議室

演題：「コミュニティ通訳・翻訳についての事例研究と実践」

講師：愛知県立大学 大学院人間発達学研究科

多文化ソーシャルワーカー コミュニティ通訳者 神田 すみれ 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参加者：30名

③ O F I X災害時通訳・翻訳ボランティア制度の運営

近畿地域国際化協会連絡協議会が実施する「災害時外国人支援ネットワーク」の取り組みに基づき、O F I X災害時通訳・翻訳ボランティア登録制度を運営した。

(ア) 登録者数

登録ボランティア数：402 名（内、新規登録者 45 名）〔令和 7 年 3 月末現在〕

(イ) 災害時通訳・翻訳ボランティアを対象にした研修

大阪府内の在住外国人が、災害時にも安全・安心に過ごせるような多言語支援を意識して、災害時通訳・翻訳ボランティアを対象に、体験活動を含む研修を実施した。

実施日：令和 7 年 3 月 5 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

場 所：マイドームおおさか 8 階 第 3 会議室

演 題：「災害時の外国人支援～食に関して注意すべきポイント～」

講 師：（公財）箕面市国際交流協会 事務局次長 岩城 あすか 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参加者：17 名

④ ウクライナ避難民通訳支援人材バンク制度の運用

ウクライナからの避難民が安心して滞在できるよう、ウクライナ語またはロシア語の通訳ボランティアの募集を行うとともに、公共団体等への言語支援を実施した。

また生活等の相談を受付ける「ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口」を設置した。

(ア) 登録者数

人材バンク登録者数：221 名 〔令和 7 年 3 月末現在〕

活動件数：9 件

活動人数：22 名

(3) 多言語情報提供の支援

行政機関や公的団体等による多言語による情報提供を支援するため、通訳・翻訳サービスを提供した。

(4) やさしい日本語の普及

① やさしい日本語研修

「やさしい日本語」を災害時だけでなく平時にも応用することで、より多くの外国人の方にとって分かりやすい情報提供を行うことをめざし、大阪府内の市町村や国際交流協会、民間企業などの職員、O F I Xボランティア等を対象とした研修を実施した。

<第 1 回>実施日：令和 6 年 7 月 5 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

場 所：労働センター（エル・おおさか）南館 10 階 南 1023 会議室

内 容：伝える！伝わる！「やさしい日本語」講座（話す編）

講 師：一般社団法人 国際多文化研修ラボ 代表理事 松本 義弘 氏

参加者：55 名

<第 2 回>実施日：令和 7 年 1 月 27 日（月） 午後 2 時～午後 4 時

場 所：池田商工会議所 2 階 C+D 会議室

内 容：外国人材共生支援セミナー「やさしい日本語研修」

講 師：神戸YWCA学院 日本語教師養成コース

コーディネーター 福井 武司 氏

参 加 者：23 名

補 足：この講義の内容は、2月25日から3月14日にかけて、協同組合 ビジネスナビ 組合員専用ページでアーカイブ配信され、51名が視聴した。

<第3回>実 施 日：令和7年1月29日（水） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第3会議室

内 容：民生委員・児童委員のためのやさしい日本語研修会

講 師：特定非営利活動法人 国際活動市民中心(CINGA)

コーディネーター 新居 みどり 氏

参 加 者：26 名

<第4回>実 施 日：令和7年2月19日（水） 午後1時30分～午後4時

場 所：泉佐野市南部市民交流センター1階 ホール

内 容：伝えたい人に、伝える“やさしい”コミュニケーションを学ぼう

講 師：医療通訳研究会(MEDINT) 代表 村松 紀子 氏

(福)泉佐野市社会福祉協議会 職員

参 加 者：41 名

<第5回>実 施 日：令和7年3月7日（金） 午後2時～午後4時30分

場 所：大阪府営住宅守口管理センター7階 会議室

内 容：外国人入居者へのスムーズなアプローチについて

講 師：神戸YWCA学院 日本語教師養成コース

コーディネーター 福井 武司 氏

参 加 者：16 名

（５）災害時外国人支援体制の確立

① 災害時外国人支援体制の確立

（ア）市町村国際交流協会との連携等

（a）市町村災害事業支援

防災力の鍵となる地域連携及び地域に根ざした災害時外国人支援を推進し、さらなる地域力・防災力の向上をめざして、市町村とともに共催事業を実施した。

<セミナー>実 施 日：令和7年2月18日（火） 午後2時～午後3時30分

場 所：箕面市立市民会館2階 大会議室2

テ ー マ：「多文化時代の窓口対応 2025 ～言葉の壁を越えていこう！～」

主 催：箕面市、(公財)大阪府国際交流財団

参 加 者：39 名

<防災教室>実 施 日：令和7年3月8日（土） 午後1時～午後3時

場 所：守口市役所1階 会議室105号室・守口消防署

テ ー マ：「外国人のための防災教室」

主 催：守口市、(公財)大阪府国際交流財団

参 加 者：13 名

（b）大阪府域における災害時の外国人支援体制づくり

大阪府内の市町村や国際交流協会間の連携やネットワークの強化を目的に、災害における

具体的対応をイメージするため、研修を行った。

<第1回>実施日：令和7年2月18日（火） 午後2時～午後4時30分

場 所：エル・おおさか 南館10階 南101

テ ー マ：「災害時の住民支援について」

講 師：NPO法人 多文化共生マネージャー全国協議会 講師

NPO法人 多文化共生サポート Adagio 代表理事 高木 祐子 氏

参 加 者：13名

<第2回>実施日：令和7年3月25日（火） 午後3時～4時30分

場 所：オンライン

テ ー マ：「災害への備え～防災・減災のための多言語支援の手引き 2023 及び多言語災害情報文例集を使ってみよう～」

講 師：(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事 土井 佳彦 氏

参加団体：13 団体

（イ）大阪府災害時多言語支援センター設置・運営訓練

<訓練>実施日：令和7年1月17日（金） 午前11時～午後0時

場 所：マイドームおおさか5階 O F I X事務所ほか

内 容：大阪府が実施する、南海トラフ巨大地震を想定した令和6年度大阪府地震・津波災害対策訓練に合わせ、主に多言語情報発信中心とした大阪府災害時多言語支援センター設置・運営訓練を実施した。

（6）大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営・活用

① 大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営及び活用事業

海外から大阪への留学の促進を図るため、大阪府堺留学生会館オリオン寮（85室）を運営した。

（平均入居率 74.6％）

共用部の一部照明器具をLED化するとともに、共用部使用のブレーカーを電子ブレーカーに入替えることにより電気使用料金の削減に努めた。さらに共用部のクロスの貼替、一部床の貼替を行った。

また、居室内の一部ベッド及び冷蔵庫の更新を行った。

その他、入居留学生と地域住民の交流を目的とした地域交流会を実施した。

（ア）地域交流会

実施日：令和6年12月1日（日）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

参 加 者：オリオン寮生 18名

地域住民等 39名 計 57名

2. 国際交流情報の収集及び発信

(1) O F I Xホームページ・SNSの運営

① O F I Xホームページ

災害多言語情報ウェブサイトとの連動を図りつつ、ホームページのリニューアルを行い、財団事業や他団体との共催事業・連携情報をホームページで発信した。

年間掲載件数：73 件

年間アクセス件数：セッション数 47,596 件、ページビュー数 118,600 件

② フェイスブック

財団事業や他団体との共催事業・連携に関する最新の情報を多言語で配信した。

年間掲載件数：146 件

年間アクセス件数：ページビュー数 5,715 件

フォロワー数：1,431 人

累計いいね！数 1,194 件

③ X (旧 Twitter)

財団事業や他団体との共催事業・連携に関する最新の情報を多言語で配信した。

年間掲載件数：195 件

年間アクセス件数：ページビュー数 24,480 件

フォロワー数：94 件

④ Y o u T u b e

財団事業や為替取引詐欺の注意喚起動画などの外国人支援に関する情報を多言語で配信した。

年間掲載件数：9 件

年間アクセス件数：視聴回数 3,408 件

フォロワー数：72 件

⑤ N o t e (令和6)

財団事業や異文化理解に関する情報を多言語で配信した。

年間掲載件数：16 件

年間アクセス件数：閲覧回数 2,589 件

累計スキ数 178 件

(2) O F I Xニュースの発行

① O F I Xニュース

O F I Xニュース(日本語、英語)を印刷版と配信版(メールマガジン)で定期的に発行した。
P R イベント時や賛助会員勧誘時のツールとして積極的に活用した。

発行回数：4回(108・109・110・111号)

発行部数：印刷版 75部

メルマガ配信数：年間合計 27,216 件（1 回 約 1,814 件）

②その他の広報ツール

企業や大学等に当財団の事業を広くPRするため、O F I Xパンフレットやリーフレットを広く配布するとともに報道機関への働きかけも行った。

また、財団事務所内において、多文化共生等の資料を配架する「O F I Xプラザ」を運営するなど、情報提供を行った。

（３）多文化共生連携センターの運営

大阪府内の市町村や国際交流協会等が打合せや情報交換等の場として利用できる「多文化共生連携センター」（財団事務所内）を運営した。

（４）民間国際交流団体等の活動促進

① 近畿地域国際化協会連絡協議会との連携促進

近畿地域国際化協会連絡協議会に参画し、近畿二府四県・四政令市の地域国際化協会等との連携を図った。

また、災害時に相互にコーディネーター及び通訳の派遣や翻訳支援を行うため、同協議会において「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定書」を締結しており、広域での通訳・翻訳コーディネーションに係る研修等に取り組んだ。

事業名：近畿地区国際化協会連絡協議会主催研修

実施日：令和6年10月4日（金） 午後1時～午後4時

場所：京都テルサ D会議室

内容：活動報告とトークセッション

「能登半島地震における七尾市国際交流協会の外国人支援について」

「能登半島地震における AAR Japan の外国人支援について」

報告者：七尾市国際交流協会 理事長 大星 美千代 氏

難民を助ける会（AAR Japan） 櫻井 佑樹 氏

参加者：35 名

② 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（K I V ・ N E T）への参画

関西における国際交流ボランティア活動の発展・振興に寄与することを目的に設立（平成8年3月）されたK I V ・ N E Tに参画。

会員数：50 団体（令和6年度事務局：（公財）大阪府国際交流財団）

実施日：令和6年9月6日（金） 午後2時～午後30分

方法：オンライン

内容：令和5年度活動報告など

参加者：12 団体

③ 市町村国際交流協会等との連携促進

（ア）大阪府域国際交流協会 オンライン情報交換会の実施

大阪府域の国際交流協会間で情報交換や知識共有を行い、各協会間の連携を深め、多文化共生事業の向上に資することを目的として、実施した。

テーマ：国際交流協会の現状とO F I Xに求めること

実 施 日：令和6年10月15日（火） 午前10時30分～午後0時

参加団体：12団体

（イ）国際交流協会ネットワークおおさかへの参画

市町村国際交流協会を中心とした幅広い関係者を含めて、多文化共生や在住外国人支援に関連した取り組みを実施した。

構成団体：（公財）大阪国際交流センター、（公財）とよなか国際交流協会、
（特活）とんだばやし国際交流協会、（公財）吹田市国際交流協会、
（公財）箕面市国際交流協会、池田市、和泉市

オブザーバー：大阪府、堺市、（特活）多文化共生マネージャー全国協議会

（a）セミナーの実施

実 施 日：令和6年8月20日（火）

場 所：大阪国際交流センター

内 容：「大阪のこれからについて『教えて、是川さん！』
～数値から見る国際化の現状～」

講 師：国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部部長 是川 タ 氏

参 加 者：35名

（b）大阪府弁護士会との連携事業

i) 「弁護士との座談会」

実 施 日：令和6年9月3日（火） 午後2時～午後5時

場 所：大阪国際交流センター

内 容：「出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律（入管法改正）について」
「国際交流協会について」
「グループディスカッション」

参 加 者：25名

ii) 「多文化共生課題検討会」への講師派遣

実 施 日：令和7年3月17日（月） 午後6時～午後8時

場 所：大阪弁護士会

内 容：「多文化共生のまちづくりの現状について」
「外国にルーツを持つ子ども・若者の現状と課題
～子どもの夢応援ネットワークの取り組みから～」
「大阪市の日本語教育の現状等について」

（c）合同フィールドトリップ

訪 問 先：大阪府立大阪わかば高校 学校見学

（日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜実施校）

実 施 日：令和6年12月12日（木）

参 加 者：20名

3. グローバル人材の育成・活用

（1）国際理解教育の展開

① O F I X国際理解教育外国人サポーターの育成・派遣

大阪府内で学ぶ児童・生徒の、外国への関心と様々な国についての理解の促進を目的として、O F I X国際理解教育外国人サポーターとして登録している外国人留学生などを、府内の小・中・高等・支援学校等で行う国際理解教育授業の講師として派遣した。

また、登録サポーターが参加・活躍・交流できる機会として、留学生のための勉強会を実施し、滞在期間の短い在住外国人が、日本で安全・安心に生活し新たな環境に順応できるよう支援した。

(ア) O F I X国際理解教育外国人サポーターの派遣実績

参 加 校：346 校（内新規派遣校 7 校）

対象児童・生徒数：5,753 名

サポーター派遣人数：152 名

サポーター登録者数：247 名　〔令和 7 年 3 月末現在〕

(イ) ふれあい交流祭り

実 施 日：令和 6 年 11 月 23 日（土）　午後 1 時～午後 4 時

場　　所：国際交流基金関西国際センター

参 加 者：55 名

(ウ) Asia Week

実 施 日：令和 6 年 10 月 20 日（日）　午前 10 時～午後 4 時

場　　所：立命館大学 大阪いばらきキャンパス

参 加 者：50 名

(エ) 留学生向け勉強会

<第 1 回>実 施 日：令和 6 年 9 月 20 日（金）　午後 2 時～午後 4 時

場　　所：β 本町橋 レンタルスペース「ラボ」

テ　　マ：「先輩外国人からアドバイスを聞いて日本社会で生きていく自信を身につけよう！」

参 加 者：11 名

<第 2 回>実 施 日：令和 7 年 1 月 25 日（土）　午後 2 時～午後 4 時

場　　所：マイドームおおさか 8 階 第 3 会議室

テ　　マ：「自分の国について伝えよう！」

参 加 者：6 名

令和 6 年事業年度においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

令和 7 年 6 月

公益財団法人 大阪府国際交流財団